

先人の生き方を学ぶ大人の道德の時間

- 論語ブームを考える -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)まずはお知らせが 1 つありますので、ぜひお聞き下さい。放送をお聴きの皆さんの中にも御存知の方がいらっしゃると思いますが、経済団体の 1 つに栃木県経済同友会があります。その中に、社会貢献活動推進委員会という委員会があります。委員長は、雅秀殿というレストランチェーンの^{ひざつき}膝月会長さんです。私は、副委員長の一人をさせていただいています。
- (3)その社会貢献活動推進委員会では、素晴らしい活動をなさっている NPO(民間非営利団体)の表彰を毎年行っています。特に、子育て、高齢化、人材育成などのテーマに熱心に取り組んでいる NPO を表彰させていただいています。少額ですが、お金を出させていただき、また、皆さんの前で活動の結果をプレゼンテーションしていただくなどの試みをしています。
- (4)表彰を行うようになってから何年目かになるのですが、今年は 7 月 25 日までが申請期間となっています。この放送をお聴きの皆さんの中に、NPO で子育てや高齢化、人材育成などに関する活動を行い、御自身で素晴らしい活動だと思われる方がいらっしゃいましたら、その活動を表彰する制度が栃木県経済同友会の中にありますので、ぜひ御応募いただくと有り難く思います。電話番号は、0286-32-5511 です。今日は土曜日なので事務局は開いていませんが、月曜日から金曜日までの平日は午前 9 時頃から午後 5 時過ぎまで開いています。NPO で活動なさっている方々は、ぜひこの表彰制度を活用して、NPO 活動の活性化を図っていただきたいと思います。
- (5)栃木県経済同友会のホームページにも、表彰制度のしくみが載っていますので、ぜひ御覧下さい。審査等ではありますが、NPO の方々の活躍を支援させていただきたいとの趣旨で、栃木県経済同友会の社会貢献活動推進委員会では、NPO の表彰制度を設けさせていただいています。放送をお聴きの皆さんの中で NPO の活動をなさっている方、特に子育て、高齢化について取り組んでいらっしゃる方は、どのような活動でも OK です。躊躇なさらずに御応募いただければ有り難いです。そこで今日は、その PR をさせていただきました。

2. 先人の生き方を学ぶ大人の道徳の時間 - 論語ブームを考える -

(1)ところで、私は宇都宮市の教育委員会から、「先人の生き方を学ぶ大人の道徳時間」で「論語ブームを考える」というテーマのお話を2回ほどしてほしいと依頼されました。今日の「開倫塾の時間」では、そのことについて少しお話をさせていただきます。

(2)「論語ブームを考える」というテーマでお話をさせていただいたのは、6月22日(水)と7月6日(水)です。栃木県の県庁と宇都宮市役所を結ぶ道路の真ん中あたりに、宇都宮市の中央生涯学習センターがあります。その5階にある人材かがやきセンターの研修室を会場にしてお話をさせていただいたのですが、そこに50数名の方々がお集まり下さいました。

(3)私は講師をさせていただいたのですが、勉強の足りない者が論語の講師をするのは不遜なのではないかと、最初は申し訳なく思いました。しかし、実際にお話をしてみると、論語を拝読する者の一人として私自身も非常に勉強になりました。

(4)私は、2時間のお話を2回するために、2か月間ぐらい準備をしました。足利市には日本最古の学校の足利学校があり、論語研究の中心的な役割を果たしています。その足利学校から発行されている「論語抄」という論語のエキスをまとめたような素晴らしい本をテキストにして、勉強をさせていただきました。ちなみに、「論語抄」の抄は才(てへん)に少ないと書きます。

(5)「論語抄」を作られたのは、足利学校の研究員の須永美知夫先生です。私は、足利高校在籍中の3年間、須永美知夫先生から週に2回ずつ漢文を教えていただきました。その先生がおまとめになられた論語についての本は素晴らしいと思ひまして、今回テキストとして使わせていただいたのです。

(6)講習に参加された皆さんは全員、非常に熱心に勉強して下さいました。皆さんと一緒に勉強する中で一番感銘深かったのは、次のところです。

し い われじゆうゆうご がく こころざ
子曰わく、吾十有五にして学に志す。
さんじゆう た
三十にして立つ。
しじゆう まど
四十にして惑わず。
ごじゆう てんめい し
五十にして天命を知る。
ろくじゆう みみしたが
六十にして耳順う。
しちじゆう こころ ほつ ところ したが のり こ
七十にして心の欲する所に従えども、矩を踰えず。

(7)この文章の意味は、「私は15歳で学問に志し、30歳で、思想も、見識も確立した。40歳で心の惑いもなくなり、50歳で、天から与えられた使命を自覚した。60歳で、何を聞いても耳にさからうことがなくなり、70歳になると、自分の欲望のままに振舞っても、その行動が道徳からはずれることはなかった。」となります。

(8)このところは、私はもちろんですが、受講された方々も非常に感銘深かったようです。私はまだ勉強が足りませんが、この孔子の教えにしたがって、せめて 50 歳で天から与えられた使命を自覚できればいいな、60 歳で何を聞いても耳にさからうことがなくなって、70 歳になると自分の欲望のままに振舞っても、その行動が道徳からはずれることがなければいいなと痛切に感じた次第です。

3. おわりに

(1)今日の「開倫塾の時間」は、宇都宮市の教育委員会から依頼されました「論語を学ぶ講座」のお話を少しさせていただきました。

(2)最後になりますが、ぜひ栃木県経済同友会の NPO 支援の表彰制度を活用していただき、NPO 活動を活発にしていきたいと思います。

2012 年 8 月 18 加筆訂正 林 明夫